

2017年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2017年全日本学生シングルハンドレガッタ

開催地： 愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖
大会期日： 平成29年8月11日（金）～平成29年8月14日（月）
共同主催： 全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
公認： （公財）日本セーリング連盟【H29-05】
後援： 蒲郡市、蒲郡市教育委員会、愛知県ヨット連盟
日本470協会、日本スナイプ協会、日本レーザークラス協会
特別協賛： 日建リース工業株式会社 日建レンタコム株式会社 日建片桐リース株式会社
協賛： 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会
協力： 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡三谷温泉平野屋

レース公示

1. 規則

1. 本大会は「セーリング競技規則 2017 - 2020」（以下 RRS）に定義された規則を適用する。但しこれらの規則等のうち、本帆走指示書（以下 指示）によって変更されたものを除く。
2. 最新の「全日本学生ヨット連盟規約」「470 級学連申し合わせ事項」「スナイプ級学連申し合わせ事項」および「艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項」を適用する。これらは全日本学生ヨット連盟にて入手することができる。
3. RRS 付則 P の「セール番号」を「識別番号」に置き換え適用する。
4. SCIRA 規則の「国内及び国際選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 競技種目

2017 年度全日本学生ヨット個人選手権大会 : 国際 470 クラス、国際スナイプクラス
2017 年全日本学生シングルハンドレガッタ : レーザークラス

3. 広告

国際 470 クラス、国際スナイプクラスは艇体の【添付図 A】に示す位置に、学連申し合わせ事項にもとづき所属大学名のステッカーを貼らなければならない。

4. 資格及びエントリー

1. 国際 470 クラス、国際スナイプクラスは 1 チーム選手 3 名としヘルムスマンの変更は認めない。レーザークラスは 1 名とする。
2. 選手は全日本学生ヨット連盟規約 6 条を満たしており、各水域の推薦を得ている者。
国際 470 クラス、国際スナイプクラスの各水域推薦枠は、次のとおりとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿 北陸	関西	中国	四国	九州	合計
3	3	18	4	6	6	4	3	6	53

3. 選手及び監督、コーチは 2017 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
4. 国際 470 級の競技者は、日本 470 協会の 2017 年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
5. 国際スナイプクラスの選手は 2017 年度 SCIRA 登録済みであること。

5. 日 程

8月11日	(金)	受付 計測	9:30~16:00
8月12日	(土)	受付・計測	8:30~ 9:30
		競技運営説明会	9:45~10:15
		開会式	11:00~11:30
		1日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		国際470クラス	13:00
		国際スナイプクラス	13:07
		レーザークラス	13:12
8月13日	(日)	2日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		国際470クラス	9:30
		国際スナイプクラス	9:37
		レーザークラス	9:42
8月14日	(月)	3日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		国際470クラス	9:30
		国際スナイプクラス	9:37
		レーザークラス	9:42

8月14日に表彰式及び閉会式を実施する

1. 本大会のレース数は、各クラス最大8レースとし各クラス3レースをもって成立とする。
2. 1日に実施するレース数はレース委員会の裁量によるものとする。
3. 各日程における各クラスの次のレースはそれぞれ可能となれば、引き続き実施する。
4. 8月12日、8月13日は16:31以降、8月14日は13:01以降に予告信号は発せられない。

6. 艇

1. 艇は原則自己所有艇とするが、レース委員会が認めた場合は、参加者がチャーターした艇も可とする。
2. 国際スナイプクラスの艇は2017年度SCIRA登録済であること。
3. 艇体には【添付図A】に示す『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示すると共に、レース委員会が準備した識別番号を指定した位置に貼り付けなければならない。

7. セール

1. 各チームが持参し、1セットの予備セールを含んだ2セットまでとする。また、レーザークラスには主催者が用意したチャーターセールも可とする。
2. 国際470クラスのセールは、基本計測を完了していなければならない。
3. 国際スナイプ級のセールは、2017年の年度計測を完了していなければならない。
4. 同一のセール番号を同時に使用してはならない。
5. オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。
6. 国際470クラスのメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。

8. 計測

1. 参加するチームは、艇体および予備のセールを含むセールに関する各水域のオフィシャル・メジャーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済みスタンプ」の確認を計測受付にて受けなければいけない。また、この計測は、**平成29年7月2日(日)以降**に実施したものが有効となる。
2. 「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはいけない。計測後に修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければいけない。
3. 各水域でやむを得ず計測ができなかったときやレース委員会が指定した計測を除き新たにセール等の計測を大会で実施する場合は、計測料として3,000円を支払うこと。この場合、理由によっては大会での計測は行わない。
(受け付けられない理由例：至近で新たにセールを購入して届いたら等の理由)

9. 参加申込み方法

参加資格のあるチームは、①②の項目の書類を電子メールで申込するとともに全ての申込書類を郵送すること。

- ① 参加申込書-1、参加申込書-2（競技者名簿）
 - ② 参加申込書-3（支援艇許可申請書）
 - ③ エントリー料・識別番号料の振込み領収書の写し
 - ④ 参加申込書に記載した競技者全員および監督、コーチの『2017年度（公財）日本セーリング連盟メンバーカード』*の写しもしくは『JSAF 会員 web 画面』の写し
※日本セーリング連盟メンバーカードは、JSAF ホームページよりダウンロードし印刷可能
詳細は、JSAF へ問い合わせください。
 - ⑤ 国際スナイプ級の競技者は、『SCIRA へのメンバー登録番号』を参加申込書-2に記載のこと
 - ⑥ レーザークラスをチャーターする場合は、チャーター料の『振込み領収書』の写し
- ①の項目書類は、**平成29年7月31日(月)17時まで**に電子メールで必着すること。
また、上記の申込書類を**平成29年8月1日(火)まで**に郵送で必着すること。
②の項目書類は、申込み期日までに間に合わなかった場合、問合せ先に電子メールと電話にて連絡したうえで、**平成29年8月10日(木)まで**に電子メールで必着すること。

郵送先 郵便番号 491-0835
住 所 愛知県一宮市あずら 2-14-1
氏 名 児山 弘昌
電話番号 090-1279-2118 E-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp

振り込先 三菱東京 UFJ 銀行 松阪支店 店番 532 普通 0090143
口座名義 全日本学生ヨット選手権（ゼンニホンガクセイヨットセンシュケン）
※銀行では口座名「チユウガクセイヨット選手権」で表示されることがある。

振り込みは、大学名と個人名を両方記入の上振込して下さい。

例 アイチダイ アイチタロウ

締め切り以降の申し込みに対しては、レイトエントリー扱いとし、8月4日(金)17時までに限り、所定のエントリーフィーに対し50%のペナルティフィーを支払う事を条件に参加を認める。この場合、パンフレットへの名前は掲載されないことがある。また、申し込み後の返金は一切応じない。

10. 参加料

エントリー料	国際470クラス、国際スナイプクラス	20,000円/艇
	レーザークラス	10,000円/艇
識別番号料	レーザークラス除く	2,100円/艇
レーザークラスチャーター料（野積み代含む）		
	（イ）セールを含む一式	12,410円
	（ロ）セールのみ除く一式	9,410円
	（ハ）艇体およびスパー	7,410円

（注）1. エントリー料には、8月12日から8月14日の給水設備使用料を含む。これ以外のハーバー使用料は、各チームでハーバー窓口に支払うこと。

2. レーザークラスのチャーターの申込は、申込書にて9の郵送先に送付することにより申込みを行うことが出来る。但し艇数に限りがあるため、先着順とする。艇の抽選は8月11日（金）9:30から行う。

11. 帆走指示書の交付

1. 平成29年7月25日（火）までに各水域学連委員長宛に送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページへ掲載する。
2. 帆走指示書に対する質問は、8月6日（日）までに参加申し込み郵送先に到着するように、文書で提出の事。
質問に対する回答は、競技運営説明会開始までに公式掲示板に掲示される。

12. 受付

参加チームは大会本部で提出を求められた場合、次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- ① 選手の（公財）日本セーリング連盟会員証。
- ② 監督・コーチの（公財）日本セーリング連盟会員証又はその写し。
- ③ 国際470クラスは計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470CLASS Measurement Form
ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書（原本）
- ④ 国際スナイプクラス計測証明書。
- ⑤ 「参加申込書-3」（「支援艇・応援艇許可申請書」）の写し

13. 得点

1. 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
2. 最優秀選手の選出において、国際470クラス、国際スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値（小数点以下2位を四捨五入）を求め、少ない方を上位とする。これでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスの選手を上位とする。成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、RRS A8を適用する。

14. コース

1. 【添付図 B】の見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

15. 安全規定

各クラスは下記安全装備を搭載し、何時でも使用できるようにしておかなければならない。

1. 国際スナイプクラス：直径 8mm以上、長さ 15m以上のパウライン
2. レーザークラス：直径 6mm以上、長さ 5m以上のパウライン

16. 賞

賞は次のように与えられる。

国際 470 クラス、国際スナイプクラス	賞状 1位～6位
	賞品 1位～3位
レーザークラス	賞状 1位～3位
	賞品 1位～3位

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの 1 位の選手には小澤杯を授与する。

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの中で最少得点の選手には最優秀選手賞
関山旗を授与する。

17. 支援艇・応援艇[DP]

1. 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、受付時に、「参加申込書-3」として郵送した「支援艇・応援艇許可申請書」のコピーを提出してレース委員会に登録し、「支援艇・応援艇許可証」を受け取らなければならない。
2. 支援艇・応援艇とは、監督、コーチ、その他の支援要員及びチームを支援・応援する関係者が乗艇する全ての艇を指す。
3. 豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇・応援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。豊田自動織機海陽ヨットハーバー以外より一時的に持ち込んだ支援艇・応援艇は、1 回あたり 15 分を越えて豊田自動織機海陽ヨットハーバー内の棧橋に係留してはならない。
4. 豊田自動織機海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇・応援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い使用料の支払いをすること。
5. 支援艇・応援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別用リボンを目立つように掲揚しなければならない。『識別用リボン』は、水面より 1m 以上の高さに掲揚するとともに、支給する『大学名を記した表示』を目立つように掲示しなければならない。
6. 支援艇・応援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線を傍受してはならない。

18. 責任の否認

1. 競技者は、自分自身の責任において本大会参加している。
(RRS4「レースをすることの決定」を参照)
2. 主催団体は、本大会前、本大会中、本大会後に関連して受けた物的損傷または個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。

19. 大会期間中の選手の肖像権

本大会期間中の、艇、選手に関連する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は主催団体に帰属する。また、これら写真は、ホームページ等へ掲載されることがある。

20. ドーピング検査

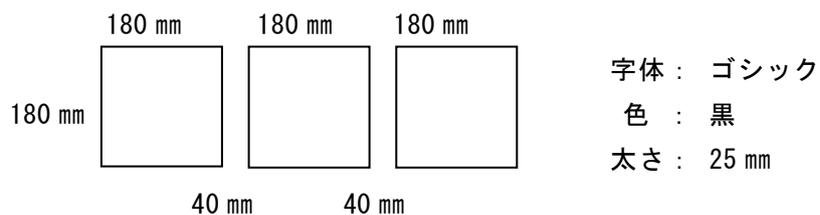
1. 本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。
本大会参加者は、参加申し込みした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. 未成年者の本大会参加者への参加申し込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
3. 本大会参加者は、大会期間中に行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかつた場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、
(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>)
にて、確認すること。

21. 問い合わせ先

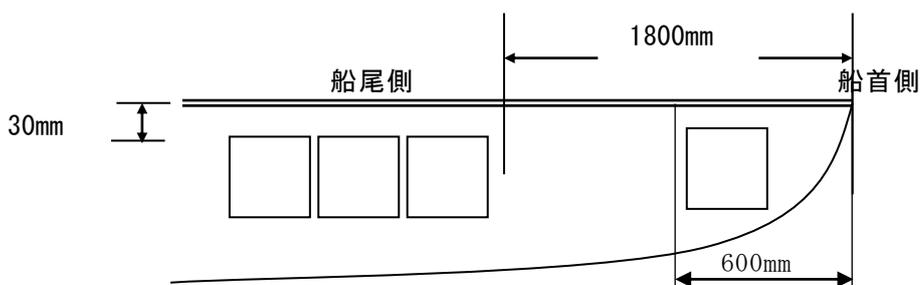
中部学生ヨット連盟 委員長 氏名：高木 航

TEL : 080-5122-1232 E-mail : chubu_icyf@yahoo.co.jp

【添付図 A】 艇体および識別番号貼付位置



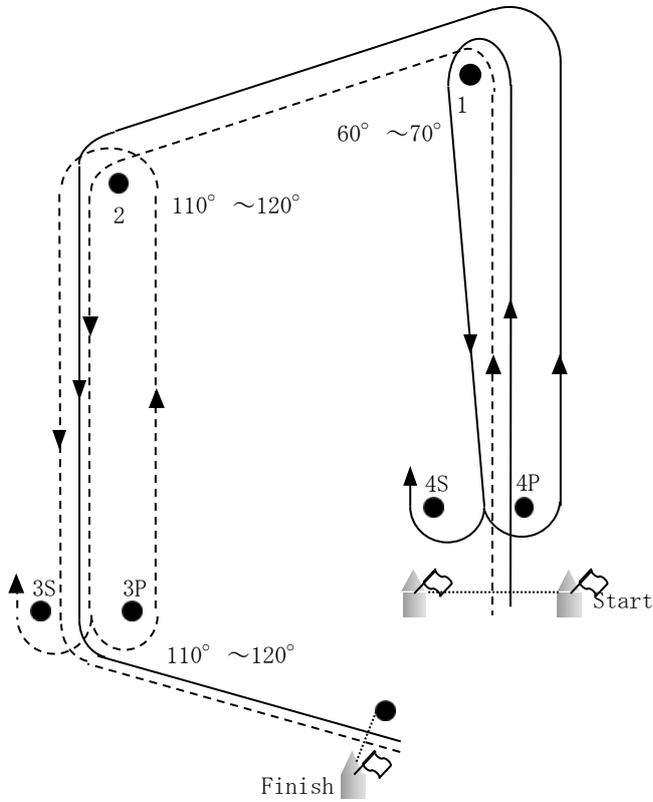
- ・ 大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・ 貼付位置は前部デッキのステムから後方 1800 mm より後ろ近い部分の両側板部分とする。
ただし、文字の大きさは 180mm 以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。
- ・ バウの先端から、600 mm の間に識別番号を張り付ける。
国際 470 級：黒色 国際スナイプクラス：赤色
- ・ レーザークラスは識別番号不要



* 取り付け位置の若干の誤差は無視する。

【添付図B】：コース見取り図

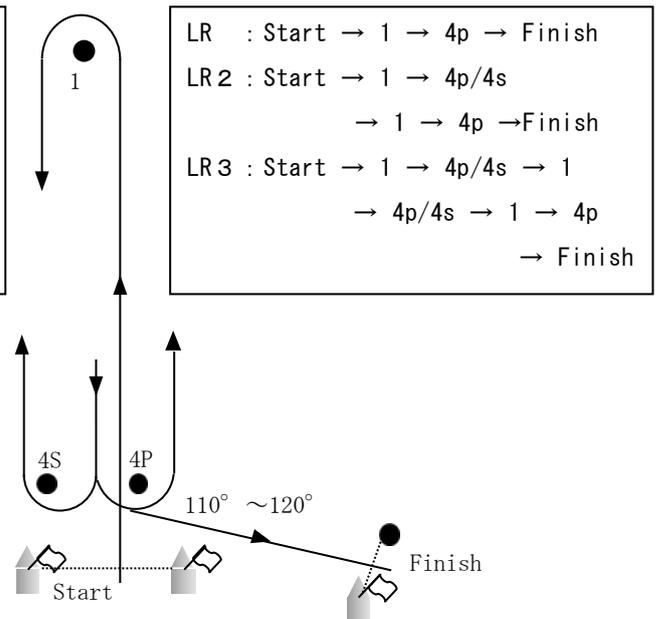
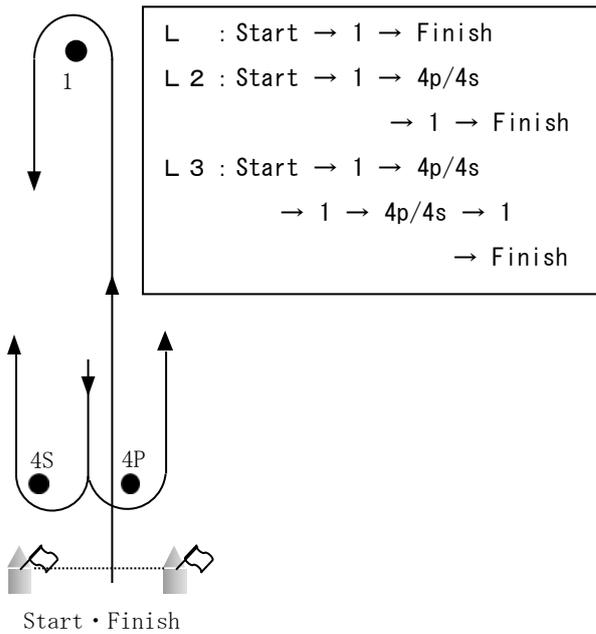
国際470クラス、国際スナイプクラス



I : Start → 1 → 4p/4s → 1 → 2
→ 3p → Finish

O : Start → 1 → 2 → 3p/3s → 2
→ 3p → Finish

レーザークラス



以上